

令和 2 年 6 月 30 日  
学校法人 大乘淑徳学園

## 令和元年度の資金運用結果について

令和元年度は、米国トランプ政権の通商政策により金融市場は揺れ動き、英国の EU 離脱問題や中東の地政学的リスクなど様々な問題が occurred。日本では、自然災害や消費税率の引き上げがありました。しかし、世界経済は強く、最長の景気拡大局面が続きました。

2 月の下旬から新型コロナウイルスの感染がアジアのほかヨーロッパやアメリカなどでも拡大し、世界経済に深刻な影響が及ぶという懸念が強まり、各国の株式市場は急落しました。先進国の債券利率は、投資家のリスク回避姿勢の強まりや金融緩和の長期化観測などを背景に上昇しましたが、保有する債券単価は下降傾向となりました。

本学園では、上記の状況の下、資金運用規程に則り、資金運用委員会・資金運用小委員会を組織して、令和元年度資金運用方針に基づき資金運用に取り組みました。

以下に令和元年度の資金運用結果について簡単にご報告いたします。

### 1 預金（期末残高 118 億円）

満期を迎えた定期預金などについて、一定の預金量を有し健全経営を行っている金融機関のなかから、利率面で有利なところへ見直しを行いました。日銀による長短金利操作付量的・質的金融緩和が継続するなかでの結果となりました。

運用益は 3,069 万円（利回り約 0.26%）となりました。

### 2 社債（期末残高 約 51 億円）

社債については、1 銘柄 5 億円が償還し、生保の劣後債 3 銘柄 15 億円を新規に購入しました。運用益は 4,424 万円（利回り約 0.85%）となりました。

### 3 金融債（期末残高 約 15 億円）

金融債については、1 銘柄 5 億円が償還し、1 銘柄 5 億円を新規に購入しました。運用益は 1,122 万円（利回り約 0.69%）となりました。

### 4 その他（期末残高 約 70 億円）

投資信託 10 億円とクレジットリンク債 1 銘柄 5 億円が償還しました。

また、日本の金融機関が海外で発行したドル建て債券を基に、為替スワップしたリパッケージ債 5 億円を新規に購入しました。

運用益は 6,115 万円（利回り約 0.87%）となりました。

以 上